

新発田市租税教育推進協議会長賞

生活を補う税金

新発田市立 東中学校 3年 大沼 倖 千 さん

私は度々図書館を利用する。そこで私が気になったのは、なぜ本を無料で貸し借りすることができるのか。実際に気になってインターネットで調べると、税金を使って本や資料を集めていることがわかった。私が知らない間に税はいろんな物を支えていた。

他にも調べていると、「図書館は税金の無駄遣い」という意見を見つけた。たしかに最近ではインターネットの普及や安価で購入できる古本屋が増え、「図書館離れ」が進んでいる。実際に私も図書館を利用する頻度は減りつつある。利用者の少ない図書館にわざわざ税金を使うのは勿体無いと思う人の考えも一理ある。自分は利用しないのに、税金を払うのはおかしい。と思う人も多いだろう。

しかし、私は税金の無駄遣いだとは思わない。なぜなら、スマホを持っていない子供やインターネットを利用するのが難しい高齢者などの娯楽となる。他にも、図書館は静かで冷房が効いていて、常に勉強する環境が整っている。いつでも良い環境ですぐ図書館をつくるには、お金がかかるのかもしれない。

そしてなにより、図書館ではいろんなことを学ぶことができる。その学び1つ1つがこれからの社会をより良くしていくのだと私は考える。図書館は税金という大きな土台があり、始めて成り立つものなのだ。

他にも、税金は、ゴミの処理、道路の整備、医療費、子育てしやすい環境づくりなどのことで使われていると知った。いずれも社会や今の日本の秩序を守ることやより良くしていくために必要なことだ。だから私たちには、社会をより良くする、社会を守る、また、そのために精を出し働いている人たちのために税金を払う義務がある。

このように、私たちが払っている税金は、巡り巡って自分の生活を彩り、補っているということがわかった。税金は私たちの生活の土台となり、今の日本の土台となっていると知った。それでも、私にはまだ税について知らないことが多いと感じる。社会にでて困らないようにするためにも、もっと税についてたくさんの知識を身につけていきたい。